



男女共同参画推進委員会

ニュース レター

No.11

平成29年8月発行



ごあいさつ



兵庫県医師会常任理事

渡辺 志伸

当委員会は、女性医師の妊娠・出産・子育て等のライフイベントにおいても継続してキャリアを積み重ねられるよう、サポートするための活動を続けて参りました。内閣府においても働き方改革実現会議の中で、働く人すべての多様な働き方について検討が進められて

います。女性医師支援の取り組みは医師全体の働き方の見直しにも繋がります。ライフスタイルに合わせた柔軟できめ細かい支援が必要となる中、女性医師の皆様はもちろんのこと、県下の大学病院や基幹病院管理者の先生方や男性医師のご参加をお待ちしております。

女性医師の会入会案内

女性医師の会にまだ入会されていない先生、一緒に活動をされませんか。入会申込書は医師会ホームページに載せていますので基本台帳にご記入の上 F A X (078-231-8111) または (w-entry@hyogo.med.or.jp) のメールで返送して頂きますようお願い致します。女性医師だけでなく男性医師、研修医の皆様の入会を歓迎します。医師会長の空地先生を始め男性の先生方にも入会して頂き事業の遂行にご協力ご助言頂いています。ぜひ入会してください。

離・退職中の女性医師のみなさんへ

離・退職中の女性医師の皆様の復職のための研修支援制度があります。80時間の病院での研修が無料で受けられます。この研修を受けて仕事に復職されませんか。研修後は自信をもって再就業に臨めます。お気軽に県医師会にご相談ください。お知り合いの女性医師で再就業希望の方がおられましたら県医師会にご紹介ください。

ベビーシッター費用の一部負担

ベビーシッター費用の一部負担をしております。勤務医は県医師会に入会されていることが条件です。研修医は県医師会に入会されていなくても対象になります。時間外勤務でベビーシッターを利用された時に負担致します。詳細は県医師会にお聞き下さい。



学生・研修医をサポートするための会

兵庫医科大学特別講義は9月28日に実施予定です。特別講義は参加できますのでご希望の先生は兵庫医科大学までご連絡下さい。神戸大学医学部の男女共同参画講義は11月27日に開催予定です。午後の講演会は参加できます。

女性医師支援相談窓口ご案内

兵庫県医師会では、仕事と家庭の両立など女性医師が抱える様々な悩みを先輩医師が伺いアドバイスをしています。下記のようなご相談はありませんか。○県外から転入しました。勤務先を紹介してほしい。○育児で休業していましたが、子供が大きくなったので復職したい。再研修制度はありますか。○ベビーシッターを探しています。○病気の子供を預かってくださるところはありますか、など何でも遠慮なさらずご相談下さい。男性医師からの相談も受け付けます。ホームページに案内と申込用紙を掲載しています。

相談受付

電話：078-231-4114

月曜日と火曜日 午前9:00～12:00

F A X：078-231-8111 随時受付

E-mail：josei-ishi@hyogo.med.or.jp

随時受付

面談：要予約



第11回兵庫県医師会男女共同参画フォーラム

平成29年7月15日、兵庫県医師会館2階大会議室で女性医師の会総会とフォーラムを開催しました。参加人数は82名でした。総会では28年度会務報告、28年度収支決算、29年度事業計画、29年度予算が承認されました。フォーラムの最初に高丸真理氏の素晴らしいソプラノ独唱を聞かせていただきました。

基調講演のテーマは「輝き続ける組織を作る～資生堂の男女共同参画への取り組み～」で、講師は資生堂相談役の前田新造様です。資生堂は1872年洋風調剤薬局として銀座に創業し、その後化粧品会社として発展してこられました。社員の83%が女性の職場で、早くから女性支援をされています。女性支援第1ステージは子どもが出来たら退職、第2ステージは育児をしながら就業継続のための制度運用、現在は第3ステージで男女とも子供を育てながらしっかりキャリアアップ。育児時間がとりにくいビューティコンサルタントのためにカンガルースタッフ制度を採用し、代替要員を確保。この制度により時短勤務のビューティコンサルタントが増加し、自分のキャリアを磨く働きがいのある会社になりつつあるとのことでした。

シンポジウムは、山崎峰夫先生、庄司拓仁先生、圓尾明弘先生、大橋千裕先生、巖和泉先生が各々の視点から問題点提起をされました。相馬葉子先生が座長を務められ、フロアからの質問に対応されました。詳しくは県医師会報に掲載しますのでお読みください。（文責 渡辺弥生）



ワーキングファザーとして、医局長として

兵庫医科大学病院

糖尿病・内分泌・代謝科講師／医局長 庄司拓仁

今回、県男女共同参画フォーラムで話を、と申し付けられました。出産・子育ては女性医師の休職・離職の主要因ですが、働き続けるには保育園入園、配偶者や実家のサポート等が整わないと困難。やむなく休職・離職となると、残された医師に負担がかかります。一方で共働き世帯は増加しており、女性医師が配偶者の支援を期待するように、男性医師の配偶者も支援を期待しています。専業主婦世帯でさえワンオペ育児による孤立が問題視されており、男性医師の家庭での役割が増加しています。

育児の難しさは経験しないと想像しづらいですが、苦勞が目に見えると、周囲は思いやりを見せてくれます。私事ですが、妻の復職にあたり、自転車にチャイルドトレーラーという荷車を付け職場隣接の保育園に送迎していました。通行人からも職場でも好奇の目で見られ、最初は気恥ずかしく思いました。ですが、乗っているのが幼い娘だとわかると誰もが笑顔になり、育児の「見える化」が思いがけずコミュニケーションツールになりました。

普段から医局内でプライベートについても話せる環境になり、育児に限らず各人の苦勞が目に見えれば、仕事の増加に対する不満・不公平感を軽減できるのではと考えています。男女、未婚を問わず、介護や病気等で同様の立場になる可能性が誰にでもあります。誰でも気兼ねなく休みをとれる雰囲気やお互いの配慮が重要と考え、医局医師全員のストレス軽減を目指し、試行錯誤中です。

病院訪問

研修医・勤務医が多数おられる病院を訪問しております。

26年2月6日	県立加古川医療センター
4月2日	神戸市立医療センター西市民病院
7月31日	市立芦屋病院
10月30日	県立淡路医療センター
27年2月5日	神鋼記念病院
4月30日	県立西宮病院
9月3日	姫路赤十字病院
11月12日	神戸赤十字病院
28年4月28日	県立尼崎総合医療センター
9月8日	明石市立市民病院
29年4月20日	公立学校共済組合近畿中央病院
8月10日	赤穂市民病院

病院を訪問させていただいて、研修医、勤務医の思い、病院の状況や保育施設の運営と工夫などを伺っています。お忙しい中、参加していただきました病院の先生方にお礼申し上げます。

兵庫県医師会男女共同参画推進委員会

渡辺 弥生	大江与喜子	大石麻利子	土屋さなえ
多田 梢	平井みどり	飯島 尋子	宮本由紀子
相馬 葉子	木村 智子	千谷 容子	村山 知行
若菜 徳彦	中村 陽子	横田 光	林崎 緑
乾 由明	大内佐智子		

担当役員

小高 正裕	渡辺 志伸	難波 光義	宮地 千尋
坂本 泰三	小野 一広		

〒651-8555 神戸市中央区磯上通6-1-11 兵庫県医師会内
電話 078-231-4114 FAX 078-231-8111